

自己評価シート【八雲住区センター児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1－1 理念・基本方針

1－1－（１） 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
【判断基準】 (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
【自己評価】	実践例（取組や記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	・事務室内に掲示し、日常活動をはじめ、事業を実施する際は参加者に向けて啓発するように意識して行ってきた。 ・目黒区子ども条例の啓発として、館内に掲示し、手軽に手に取れるようパンフレットを設置している。また、子ども会議など折に触れ、子ども達に伝えている。
1－1－（２） 理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
・事業を企画運営していくうえで、理念、方針を基に今の子ども達にあった目標設定を行い、実施後は振り返り、次回に活かすようにしている。	・周知の方法として月のお知らせを配布しているが、それ以外の工夫も必要であると感じている。

2、児童館の活動に関する事項

2－1 児童館の理念・目的及び施設特性

2－1－（１） 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
【判断基準】 (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。 (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。 (c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。	

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	・自館の目標に児童館の理念と目的を盛り込んでいる。 ・年齢や発達段階に合わせ、子どもの意見を尊重し、子どものやりたいという気持ちを引き出し、実現できることを目標に支援している。その目標を達成するために、子ども会議を開催するだけでなく、アンケートを取り、子ども達の思いが実現できるように、努力している。 ・子どもの権利が尊重されるよう、保護者をはじめ地域の方々との関係を大切にし、児童館事業への理解と関心が深まるよう連携をとっている。
2－1－（2） 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を発揮している。	
【判断基準】 (a) 児童館の施設特性を発揮している。 (b) 児童館の施設特性を発揮しているが、十分ではない。 (c) 児童館の施設特性を発揮していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	・「子どもがまた来たい。児童館は楽しい。」と思えることを第一に考え、毎月、各部屋の取り組みや目標を話し合い、部屋運営を行っている。 ・職員が遊びの輪に入り、子ども同士が様々な関わりを持ち、互いの思いを尊重したり、認め合えることができたりする仲間作りを支援している。 ・利用者と信頼関係を築くことに重点を置いて、子どもが安心して、自由に遊べるように支援している。 ・独立した乳幼児室がない為、プレイルーム、遊戯室を優先的に使える時間帯を毎日設定し、年齢、目的に合わせて利用者が選択できるように工夫した部屋運営を行っている。 ・複合施設の住区センターと連携をとり、住区住民会議と共に地域行事を実施し、地域の子供達と一緒に支援していく関係を作っている。また、複合施設の老人いこいの家、住区センターの窓口とも、緊急時の対応などは連携している。
2－1－（3） 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
【判断基準】 (a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 (b) － (c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）

☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	・子ども会議や行事などを通して「目黒区子ども条例」について知ってもらう機会を作っている。また、子ども会議の内容やアンケート集計を新聞として掲示すること、意見を言いやすい雰囲気や機会を作ることで、子ども自身が「意見を言える場である」と認識できるようにしている。 ・行事等で子ども達が主体的に取り組むことができる機会を積極的に作っている。 ・日常では、子ども一人ひとりのことを理解することを意識し、子どもに合わせた対応や声掛けなどを行っている。
--	--

2-1-(4)

児童館の理念・目的及び施設特性について

良いと思う点	改善が必要だと思う点
・毎月、次月の目標や取り組みについての打ち合わせをすることで、全職員が共通認識を持ち、児童館運営に携わることができている。 ・職員間で、児童館の理念・目的などを意識した事業を企画、実施し、実施後は次回に活かせるように振り返りをしている。 ・子どもの権利擁護に関する取り組みを意識し、子どもの意見が反映される運営をしている。	・引き続き、児童館についてのPRや理念・目的を分かりやすく伝えていく必要がある。 ・子ども達から主体的に企画し、実施する経験が今年度は少なかった。

2-2 遊びによる子どもの育成

2-2-(1)

子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。

【判断基準】

- (a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。
- (b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。
- (c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。

【自己評価】

実践例（取り組みや記録等）

☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	・毎日の打ち合わせの中で、子どもの発達や状況、気になることなどを職員間で共有し、同じ対応ができるようにしている。また、必要に応じて記録に残す等、継続した関わりができるように工夫している。 ・一人ひとりの個性を大切にし、子どもを理解し、職員が共通認識を持ち、子ども達の育成を行っている。
--	---

2-2-(2)	
子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
【判断基準】 (a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。 (b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。 (c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	・子ども達の気持ちを大事にし、主体的に遊べるように支援し、職員も一緒に遊びに関わっている。 ・子ども達のやりたい気持ちが実現できるよう、職員で話し合いをし、遊びの工夫をしたり、選択をして遊べるようにしている。 ・職員から新しい遊びを紹介し、遊びの幅が広がるようにもしている。
2-2-(3)	
子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
【判断基準】 (a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。 (b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。 (c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	・遊びを通して、子ども同士で教え合い、優しく伝え合う姿がある。 ・初めて来館する子や遊び方がわからない子なども、いろいろな活動に参加できるように職員が間に入ることで、子ども同士が自然と異年齢で関り楽しんで遊ぶ姿がある。 ・色々な集団遊びを取り入れ、覚えた遊びを子ども達からの発信で、楽しむ姿がある。
2-2-(4)	
遊びによる子どもの育成について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
・子どもが安心して、安全に過ごし、児童館にまた遊びに来たいと思えるよう、信頼関係を築いている。子どもが興味を持つような遊びや工作などを準備し、子ども自身が遊びを選択でき	・中には言葉が強くなってしまう子もいるので、今後も遊びを通し、子ども同士の関わりの中で気持ちを伝え合い、他児の気持ちに気づく機会を作っていく。

るよう環境を整えている。 ・遊びを通して子ども同士の関わり合いができて いる。	・遊具など、みんなで使用するものを、大切に使い、 片付けられるようにしていく。
---	--

2－3 児童館の安全管理

2－3－（１） 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	
【判断基準】 (a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。 (b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。 (c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	・毎月、避難訓練や危機管理研修を実施している。また、実施後には振り返りを行い、確認している。
2－3－（２） 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	
【判断基準】 (a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。 (b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。 (c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
☒ a)、 ☐ b)、 ☐ c)	・毎日、各部屋の施設点検（遊具も含め）を実施し、日常的に安全確保を意識している。不具合がある時は朝会や昼会で伝え合い、原因を考え、できるところは改善（修繕）し、事故やケガの未然防止に努めている。 ・子ども達が安心して安全に遊べるよう環境を整え、遊び方（使い方）を確認し、子ども達に伝えている。 ・日頃から、衛生管理も含めて施設の消毒や換気を心掛け実施している。